

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21



2026 年 5 月 12 日 (火) 発行

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨YMCAグローバルコミュニティセンター

☎055-235-8543 fax055-235-8553 Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	エドワード・オン(シンガポール)	「信念、愛、行動」 (Faith, Love, Action)
アジア太平洋地域会長	田上 正(熊本むさし)	「信念と愛を持って行動しよう!」 (Act now with faith and love!)
東日本区理事	山下 真(十勝)	「ワイズのらしさ再発見」 (Rediscovering Y's Uniqueness)
あずさ部部长	山口 直樹 (東京武蔵野多摩)	「垣根を低くし、活発な活動を」
甲府21クラブ会長	水越 正高	「35周年で育む会員の絆と、青少年の未来を創るクラブへ」 (Connecting the Next Generation)

甲府21ワイズメンズクラブ

2026 年 5 月会報

今月の強調テーマ

Leadership D.
Youth Eng.

今
月
の
聖
句

「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。(ヨハネ福音書 16 章 33 節)」

選：後藤 哲夫

"We Are Not Alone" Scripture reading is taken from John 16:31-33

5月 巻頭言



写真：沖縄で初めて見ることが出来た「ジンベイザメ」

甲府 21 ワイズメンズクラブ 会長 水越正高

新年度が始まり、甲府 21 クラブとしても春の活動が本格的に動き出しております。4 月から 5 月にかけては、クラブとして大切にしている「交流」「親睦」「奉仕」をそれぞれ形にする事業が続いており、改めてクラブ活動の意義や、人とのつながりの大切さを感じる日々となっています。

4 月 11 日には、山梨 YMCA にてベビーカーコンサートを開催いたしました。当日は多くのご家族連れの皆さまにご参加いただき、会場は温かな雰囲気包まれていました。特に印象的だったのは、新しく YMCA へ足を運んでくださったご家族の存在です。小さなお子さまたちが、音楽に合わせて身体を動かしたり、目を輝かせながら演奏に耳を傾けたりする姿を見ていると、会場全体が自然と笑顔になっていくのを感じました。

近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、地域の中で安心して親子が集える場所や、気軽に文化や音楽に触れられる機会は決して多くないと感じます。そのような中で、YMCA という場所を通じ、小さな子どもたちへ音楽体験の機会を届けることには大きな意味があると改めて感じました。もちろん、イベントを開催するだけでは他にも方法はあるかもしれませんが、しかし、私たちが大切にしたいのは、単なる催しではなく、「人と人とがつながる場」をつくるこ

とです。子どもたちの笑顔、それを見守る保護者の皆さまの穏やかな表情、そして支えるスタッフやメンバーの姿を見ながら、改めて YMCA とワイズの活動の価値を実感する時間となりました。

また、5 月にはクラブの記念旅行を予定しております。今回は横須賀でのクルーズや海鮮料理を楽しむ内容となっており、現在準備を進めております。今回の旅行には、日頃クラブを支えてくださっている会員の皆さまへの感謝、そしてクラブ 35 周年を皆で祝いたいという思いを込めています。

クラブ活動は、多くの方々の支えによって成り立っています。例会運営や事業準備、对外活動など、目に見える部分だけではなく、その裏側では多くの時間や労力が積み重ねられています。こうした時間を通じて仲間同士がゆっくり交流し、親睦を深めることも、クラブにとって非常に大切な意味を持っていると感じています。特にここ数年は、社会環境の変化もあり、人と人とのつながりの在り方が大きく変わりました。だからこそ、同じ時間を共有し、同じ景色を見て、共に笑い合える機会の大切さを改めて実感しています。今回の旅行が、35 周年という節目を振り返るだけでなく、これから先のクラブの未来へ向けた新たなつながりを生み出す時間になることを願っています。

さらに、5 月 23 日に開催される YMCA チャリティーランに向けた準備も本格化しております。毎年多くの方々に支えられて開催されるこの事業ですが、今年も参加される皆さまにとって、安全で楽しく、そして思い出に残るイベントとなるよう、クラブ一丸となって準備を進めています。チャリティーランは、単なるスポーツイベントではありません。地域の皆さま、YMCA、ボランティア、そしてワイズメンズクラブが一つになり、「支え合う」という思いを共有する場でもあります。

こうした活動を通じて、地域とのつながりを深め、YMCA の理念を広げていくことも、私たちの大切な役割の一つであると感じています。

春は、新しい出会いや新たなスタートの季節です。

その中で、甲府 21 クラブとしても、一つひとつの活動を大切に積み重ねながら、人とのつながりを育み、地域に必要なとされるクラブを目指してまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4 月 第 1 例会報告

書記 佐藤 利之

日時 2026 年 4 月 7 日 (火) 18:30～
会場 山梨 YMCA

4 月、5 月とイベントが盛りだくさんなのでその打ち合わせがメインの例会でした。

まずベビーカーコンサートですが寺田ワイズ中心に積極的に集客してくれたおかげで当初不安視されていましたが最終 60 名近い方に来ていただき大盛況でした。子供達の全身で楽しんでいる姿と嬉しそうな親御さんの姿を見れてほんとに価値があるイベントと再確認できました。メン、メネット合わせて約 20 名の方がお手伝いしてくださいました。

記念旅行、チャリティーランと大きなイベントが続いていくのでその打ち合わせも行いそれぞれ具体的になってきました。

5 月 第 1 例会プログラム

2025 年 5 月 12 日 (火) 18:30～

会場：山梨 YMCA 3 階大澤英二記念ホール
司会 奥水順雄ワイズ
水越会長

- 開会点鐘
- ワイズソング・ワイズの信条
奏楽 杉田博子ワイズ
後藤哲夫
- 今月の聖句 後藤哲夫
- 会員ひと言
- 会長挨拶 水越会長
- ハッピーバースデー
- ワイズディナー
- 連絡事項
・チャリティーランについて
・記念旅行について
- YMCA 報告・諸報告
- YMCA の歌 奏楽 杉田博子ワイズ
- 閉会点鐘 水越会長

今後の予定

- 5/12 (火) 18:30 第 1 例会
5/16 (土) 出発 07:30～甲府着 18:00 頃
35 周年記念旅行
5/23 (火) 7 時に集合 チャリティーラン
(小瀬スポーツ公園補助競技場)
5/26 (火) 18:30 第 2 例会

6/6 (土) ワイズメンズクラブ東日本区大会
石巻河北総合センター ビックバン
6/27 (土) 山梨 YMCA 創立 80 周年記念
式典 13:30～15:30

Happy Birthday!

<5 月の誕生者>

<敬称略>

<メン>

佐藤 利之 5/8 依田 友紀 5/22
溝口 秀男 5/23

<メネット>

奈良田 智恵美 5/31



4 月会計報告

会計 山口 了

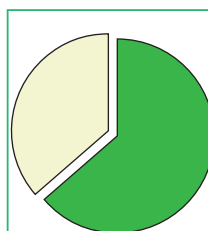
[会計報告]

2026 年 4 月末現在



項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
4月の合計	22,600	0	22,600
4月末迄累計	231,247	100,000	331,247
達成率	92.5%	100%	94.6%

<4 月例会出席者 4/7>



63.6%

会員数 44名
第一例会出席者 28名
ゲスト出席者 名
メネット 名
総出席者数 名
出席率(会員のみのみ) 63.6%

ベビーカーコンサート

第 9 回ベビーカーコンサート報告

実行委員長 寺田喜長

日 時 2026 年 4 月 11 日 (土)
11:00 開演

会 場 山梨 YMCA3 階大澤英二記念
ホール 「ベテル」

出演者 音楽アンサンブル「パルフェ」

演奏曲目 愛の挨拶、春よ来い、天国と地獄、
いのちの奇跡等 12 曲

体験コーナー

ハンドベル、手遊び・・・(全員参加)

来場者 59 名 (当日キャンセル 4 組)

□甲府 21 メンバー 15 名、メネット 4 名



<参加者について>

メインが乳幼児対象ですので今回は 4 組キャンセルが有りました。これは想定内でしたが今回が一番多く、中には大変残念と連絡いただいた方がいらっしゃいました。

<アンケート>

コンサートについてのアンケート結果は好評を頂きました。YMCA を知っていますかの設問の結果は 22 分の 14 名、ワイズメンズクラブを知っていますかは 22 分の 3 名でした。YMCA に関しての知名度は増えてますがワイズメンズクラブについては前回より減少しました。前 2 回からのリピーターさんは 4 組、これらをどう捉えるか？です。友人知人の紹介で応募されて方が 9 名、チラシ、フェイスブック、メール (リピータ)、タウン誌にて 5 ~ 2 名の応募でした。

<経費について>

経費は会場費負担が増額になり前回より 9,000 円ほど増加して 92,786 円となりました。あずさ部 CS 補助金を今年度も支給して頂きましたことを付け加えます。有難うご

ざいました。当日運営をお支え下さいました「パルフェ」メンバー、クラブメンバー、メネットのみな様にも心から感謝申し上げます。



あずさ部評議会



2026 年 4 月 18 日 (土曜)

高尾の森ワクワクビレッジ

- 1) 水越会長に代わって荻野副会長の挨拶
- 2) CS・Y サ事業助成金を頂きました。

事業名: ベビーカーコンサート

助成金額: 70,000 円

W4W 2026



CS・Yサ活動 W4W活動の実施報告

甲府 21 CS/Yサ 委員長 佐藤重良

□実施日 2026 年 4 月 28 日 (火)

15:30-17:00

□実施場所 山梨 YMCA 園庭

□実施内容 山梨 YMCA 会館周囲の環境改善

・会館建物周囲の・雑草取り (雑草 約 15kg)

・フラワーポットに花 (ナデシコ 56 株) を植える

・作業は山梨 YMCA の学童保育の児童達 19 名と実施

□スタッフ 5 名・ワイズメン 10 名

合計 34 名

□狙い

・山梨 YMCA の児童達 (小学 1 年生から 6 年生) とワイズメンの交流

・会館周囲の美化と潤いを提供 (W4W の活動) 花の植え付けは 最初は戸惑っていましたが ワイズメンとの協働作業で慣れてくると スムースに植えられるようになりました。

この日は気温 26 度もありました。植え付け後水やりして完了。ほっとしたような感じでした。これから先の花がきれいに咲いてくれることが、子ども達とワイズの協働作業の成果が楽しみです。

◆甲府 21 参加者 (敬称略)

山縣・寺田・松村・小澤公・荻野・浅川・水越・赤根・平賀・佐藤重 以上

W4W 2026について



W4W (Week for Waste、ゴミ・廃棄物の週) は、2021 年から世界中のワイズメンズクラブが参加し毎年 4 月に実施されているものです。

2050 年には、海の中のプラスチックごみの量は魚の数を超えるという説があります。ローマクラブが「成長の限界」で地球資源の有限性を訴えてから 50 年が経過しました。

毎年末に COP(国連気候変動枠組み条約締結国会議) は開かれていますが、決定されたことは経済成長の名目のもとで実施が困難になっています。私たちは地球環境の破壊をし続けているのです。温暖化の阻止にごみ拾いは直接の効果は無いかも知れませんが、ワイズが環境破壊の課題に向き合う姿勢は大切です。ハチドリの一滴は集まれば森林火災を消す力になります。

「Week 4 Waste」の目的は、身の回りのごみ拾いを世界中のワイズ全員が一斉に行い、地球を綺麗にしようというものです。

<東日本区 深澤 CS・Yサ事業主任>

大人な徘徊 国内編



薬袋 勝

徘徊人 薬袋 勝

10 回にわたる国外逃亡、家を守ってくれた妻の協力が無ければ実現しませんでした（感謝）。また、県食協や秀峰調理師専門学校でのアルバイトによる資金調達が出来たことも年金生活者には、大きな助けでした。年寄りの一人での外国徘徊は、そろそろ無理があると考え、国内徘徊に切り替えて出かけようと思っていたところ、コロナ流行で停止しなければならませんでした残念！

外国の徘徊だけでなく、この十年に国内も少々、徘徊したので、この成果について次に述べます。

◎国内徘徊

私の所属しているワイズメンズクラブ（ワイズ）：甲府 21 クラブと兄弟クラブ：草津クラブの間に交流会があり、1 年おきに琵琶湖畔を訪問した後、皆と別れ徘徊チャンスが得られました。

1. 2012 年：尾鷲（熊野古道：伊勢路）、伊勢志摩及び伊勢神宮の徘徊。

この時は左腕骨折でギブスをした徘徊でした。徘徊を極める者にとって、忘れていけないのは昔の道（古道）で、熊野古道や伊勢路はその代表的な道です。尾鷲にある熊野古道（東部）を徘徊後、近くにある的場で、牡蠣を賞味しました。徘徊は、歩くだけでなく、その地域の名産を食べることも忘れてはいけません。

2. 2016 年：小浜、舞鶴、天橋立、城崎及び豊岡の徘徊（丹後鉄道利用）。

子供の頃、外地からの引揚船の事がよくラジオから流れていました。その引揚船が付いた港跡（記念館）へ早朝徘徊、舞鶴市内より意外と離れており、苦勞して帰国したのにこんな辺鄙の場所に到着したのはさぞかし寂しかったでしょう。豊岡では、コウノトリの繁殖に成功した成果をこの目で見る事が出来、滅びた生態の復活の努力に希望が見えました。

3. 2018 年：彦根、長浜、舞子及び神戸の徘徊。

武田氏の滅亡の際、家康は武田の臣下の能力

を認め各地にリクルートしました。その代表的なのが、井伊氏の家臣団に配属された事です。井伊の赤備えは、武田の赤備えが由来だと言われています。その甲斐から移った家臣団の中に薬袋姓が見られ、江戸中期には奉行として活躍をしており、それを記念して、今も長浜地域に“おミナイ祭”の開催と謝恩碑が残っております。私とは、DNA は違いますが誇りに思い碑を見てきました。台湾旅行でも記しましたが、孫文との係わりを調べに、神戸舞子の孫文記念館へ訪問しました。

4. 2019 年：仙台、宮古、三陸鉄道及び平泉の徘徊。

学生時代からボランティア活動に関心があり、1964 年の新潟地震や 1999 年の台湾地震でのワークキャンプに参加したにも拘らず、東日本大震災直後にはトルコを徘徊して、チョピリ後ろめたさを持っておりました。19 年のワイズ国際大会が仙台で開催され、被災地への訪問が実現しました。8 年経過したにも拘らず復興途上の様子、地元の方々のご苦勞が偲ばれます。学生時代に、ヒッチハイク（徘徊）で三陸海岸を旅行し楽しい思い出を持っています。特に宮古の浄土ヶ浜では、遊歩道のトンネルの中で一夜を、寝袋で過ごし、このトンネルの津波被害も気になっていましたが無事でした。開通した三陸鉄道から見た町々の周りに高い防潮堤が築かれたのが印象的でした。東北には何回か旅行しているのですが、平泉は常に通過駅でした。この機会にと思い、中尊寺徘徊が実現したことが楽しい思い出でした。

5. 2020 年：紀伊白浜、那智神社、新宮、熊野大社及び熊野古道の徘徊。

博物学（古い言葉ですね）の世界的大家“南方熊楠”は、出身地の白浜で生涯を終えました。紀伊の各地を徘徊すると、植物を中心とした生態の豊かさに驚かされ、これが熊楠先生の基本になっていることに納得いきました。熊野古道は今回で 2 回目、体力の有るうちに山道の小辺路（こへじ）を選びました。残念ながら、下山終了直後に足の痙攣が起り、旅館ご主人に車の迎えを頼みました。これまた、加齢が原因！ 日本で一番長い路線バス、新宮から大和八木へも乗り継ぎ帰宅しました。

<次回は、「山岳徘徊」「道祖神」について>

ペンリレー

趣味について

書記 佐藤 利之

43歳になった現在でも、私の部屋の一角にはレコードやCDが積み重なっております。自分でも少し不思議に思うのですが、きっかけは20年以上前、学生の頃に出会ったPUNKでした。勢いがあって少々荒っぽく、どこか不器用なその音に惹かれ、気がつけば自然と手が伸びていました。

当時は今ほど価値が語られることもなく、レコードは比較的気軽に手に入るものでした。海外のレコードが数百円で見つかることもあり、「これは良さそうだ」とジャケットを見て直感だけで購入していました。結果として「結構微妙だ…」というものもありましたが、それもまた楽しみの一つだったように思います。それが現在では、同じレコードに思いがけない値段がついていることもあり、時の流れというのは面白いものだと感じます。かつてはひっそりしていた作品が注目され、PUNKという言葉もずいぶんと広く知られるようになりました。

もっとも、私にとっては値段以上に、針を落としたときの小さなノイズや、音がふわっと広がる瞬間が魅力的に感じます。結局のところ、昔も今も同じように楽しんでいるだけなのかもしれません。

とはいえ、そんな私のレコードを眺めながら、妻は時折やさしく首をかしげます。「これ、そんなに大事なの？」と。確かに場所を取りま



Daft Punk - Da Funk

すし、特別役に立つわけでもありません。どうやら私にとっての宝物も、妻から見れば少々扱いに困るもののようにして、そのあたりも含めて、なかなか味わい深い趣味でございます。

◆YMCA便り◆

「共に歩む」

総主事 中田 純子

五月の爽やかな風が、山々の新緑を揺らす季節となりました。甲府、甲府 21、やまなみ、富士五湖、松本、長野の各ワイズメンズクラブの皆様におかれましては、変わらぬご支援に感謝いたします。

本年度の山梨 YMCA は、創立 80 周年という大きな歴史の節目を迎えております。この記念すべき年を、私たちは「これまでの歩みへの感謝」と「次代への新たな一歩」を刻む大切な一年としてまいります。

今月 5 月には、毎年恒例行事である「第 28 回インターナショナルチャリティーラン」を開催いたします。障がいのある子どもたちを支援するためのこの大会は、まさに YMCA の理念を体現するものです。共に走り、共に支え合う喜びを分かち合うこの日に向けて、現在、実行委員会を中心に一丸となって準備を進めております。

さらに、続く 6 月には、年度の指針を定める「総会」、そしていよいよ「創立 80 周年記念式典」を執り行う予定です。80 年という長い歲月、山梨の地で青少年の育成と地域社会への奉仕を続けてこられたのは、他でもないワイズメンズクラブという力強いパートナーが常に寄り添ってくださったからに他なりません。現在、式典を最高の形で迎えるべく、各実行委員会が本格的に始動しております。会議を重ね、細部にわたり心を尽くして準備に当たる委員の皆様の姿には、YMCA を愛する深い思いが溢れており、私自身、大きな感動と勇気をいただいております。

これらの行事は、単なるイベントではなく、私たち YMCA とワイズが守り続けてきた精神を再確認し、広く社会へ発信する貴重な機会です。一つひとつの活動が大きな実を結び、80 周年の喜びを皆様と共に分かち合えることを切に願っております。